

# 法学 -裁判の新聞記事を読む前に-

単位数	ナンバリングコード	
2	DBA206	
	教員名	関根 洋
	専門	法学、民事法、商法・有価証券
	出身校等	北海道大学 大学院 法学研究科 博士課程単位取得中退
	現職	北海道情報大学 経営情報学部 講師
<b>授業形態</b>		
前期印刷授業・後期印刷授業		
<b>授業範囲</b>	<b>試験範囲</b>	
教科書第6章・第7章	授業範囲の内容すべて	
	【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く） と生成系AIの参照は不可とする。	
<b>科目の概要</b>		
使用する教科書の「法学概論」に相当する箇所を対象とします。取扱われている項目は多岐にわたり、初歩的な問題のみならず、新しくかつ高度な問題も一部に取扱われていますが（平易に書かれているので大丈夫です）、大学教育としてはまさにそこが「頑張りどころ」であるとも言えます。		
<b>授業における学修の到達目標</b>		
民法・商法の履修に際して前提となる、法律学に関する基礎的な知識を習得すること。		
<b>講義の方針・計画</b>		
教科書は大変判り易く書かれており、学習用プリントの必要もないくらいですが、ともかく教科書を丁寧に読んで正確に理解して下さい。その際、必ず六法を傍らに置いて、引用されている条文（例えば「民法〇〇条によれば.....」など）にも併せて目を通すようにして下さい。判らない用語を調べるために、『法律学小辞典』（有斐閣）を手許に備えることが理想的ですが（憲法、民法、商法等の法学関連科目にも間違いなく役立ちます）、そうできなくても、「要すれば最寄りの図書館等で随時調べる」ことを心掛けて下さい。		
第1回：紛争と法(教科書 第6章 1)		
第2回：裁判のしくみ(第6章 2)		
第3回：紛争解決方法のいろいろ(第6章 3)		
第4回：一般法と特別法(第7章 1)		
第5回：判例法(第7章 2)		
第6回：法の解釈(第7章 3)		
第7回：公法と私法(第7章 4)		
第8回：民事責任と刑事責任(第7章 5)		
第9回：憲法と私たちの生活(第7章 6)		
第10回：自己決定権・プライバシー権・個人情報の保護(第7章 7・8・9)		
第11回：男女の平等(第7章 10)		
第12回：生存権の保障(第7章 11)		

<b>講義の方針・計画</b>
第13回：裁判を受ける権利(第7章 12) 第14回：外国人と人権(第7章 13) 第15回：コンピューター社会と法(第7章 14)
<b>準備学習</b>
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法</b>
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
<b>成績評価の方法およびその基準</b>
科目試験による評価100%
<b>教科書</b>
書名：法の世界へ(第9版) 著者名：池田真朗ほか 発行所：有斐閣 ISBN：9784641222120 書名：ポケット六法(令和6年版) 発行所：有斐閣 ISBN：9784641009240
<b>参考書</b>
なし
<b>その他</b>
「民法入門」、 「商法」の履修を予定している諸君は、この科目を履修することを希望します。
<b>試験期間</b>
シラバス検索画面トップページ ( <a href="https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/">https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/</a> ) 下部の「2024学年暦」を参照
<b>学習プリント</b>
あり
<b>教職科目</b>
商業5の1(選択)
<b>関連受講科目</b>
「民法入門」、 「商法」
<b>担当教員の実務経験</b>
実務経験なし